

賛成 討論

平成26年度予算は444億円となり、依然として厳しい状況ではあるものの前年度比3.7%増の積極的予算であると言える。その中でも投資的経費は、前年比49.7%増、金額にして12億8400万円増の38億6600万円であり、市長をはじめ当局執行部の行財政改革の結果によるものと高く評価する。また、主要事業として、織都桐生を全世界にPRする機会となる織都千三百年事業補助、自主防災会の活動を支援する自主防災事業、『メイド・イン桐生』の小水力発電設備開発に向けた環境都市推進事業、資産割を廃止し平等割の減額を行う国民健康保険税のあん分率の見直し、スズメバチの巣駆除費用に対する補助制度、保育園、幼稚園の第3子以降の保育料無料化、学校耐震化と平行したトイレの洋式化を行う小学校改修事業、小さい頃から織物体験ができる小学生の織物体験事業などは、市民生活の向上につながる事業として評価する。

歳入については、消費税増税に伴う地方消費税交付金の増収分が第3子以降の保育料無料化、中学校3年生までの子どもの医療費無料化事業に配分されるとのことで着実に社会保障の充実に使われることが確認できた。

その一方で今後の課題としてみどり市との合併や市民一人一人が実感できる経済対策の実行を強く要望するものである。

桐生市が抱える人口減少問題を的確に把握・分析し、効果的な政策を実施するとともに、これから桐生市が目指す『学園都市構想』『働きたくなるまち』『住みたくなるまち』を実現するための初年度にふさわしい予算執行を望む。

反対 討論

総務省の事務次官通知には、『住民の納得と指示が得られるよう、給与制度・運用・水準の適正化を強力に推進すること』とあるが、現在の給与制度は、住民の納得と支持が得られているのか。

また、平成26年度予算は基本的に前年度予算を踏襲したものであり、富裕層や大企業の税負担を軽減する一方、勤労世帯は賃金そのものの減少に伴う税負担の相対的な増加に苦しんでいる。『社会保障の充実』を理由とする消費税率3%引上げを目前にした今、それとは逆に、『重点化・効率化』の名のもとで社会保障の切捨てが行われているのが現状である。

このような国の動向と推移にそくした予算編成がどれだけ桐生市民の福祉の増進に寄与するか疑問を覚えるため本予算に反対する。

平成
26年度

予算を可決

この定例会では、平成26年度桐生市一般会計予算及び11事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員19人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



(委員会の様子)

一般会計の補正予算

○平成25年度桐生市一般会計補正予算（第5号）可決

歳出予算の主な補正内容

- 衛生費清掃センター費
ごみ処理施設改修事業……………4億9,842万8,000円の追加
(桐生市清掃センター延命のための改修工事費)
- 商工費商業振興費
プレミアム付き商品券発行支援事業……………2,000万円の追加
(補助率20%のプレミアム付き商品券発行支援補助金)

○平成25年度桐生市一般会計補正予算（第6号）可決

歳出予算の主な補正内容

- 消防費災害対策費
大雪災害対策事業……………2億5,734万4,000円の追加
(農業施設や住宅等の復旧や撤去に要する費用の一部を助成)

○平成26年度桐生市一般会計補正予算（第1号）可決

歳出予算の主な補正内容

- 民生費社会福祉総務費
臨時福祉給付金支給事業……………4億6,879万8,000円の追加
(消費税率の引上げに伴い支給される臨時福祉給付金の事業関係費)
- 民生費児童福祉総務費
子育て世帯臨時特例給付金支給事業…1億940万5,000円の追加
(消費税率の引上げに伴い支給される子育て世帯臨時特例給付金の事業関係費)